

学習フックシート

年 組 名前

2020年6月4日付中濃版他
国語科 / 小学校5年

Ⓐ

山羊さん除草隊 美濃加茂で始動

美濃加茂市中部台の公園「さくら広場」で三日、恒例の「山羊さん除草隊」の活動が始まった。新型コロナウイルスの影響で二カ月遅れの本格始動となったが、愛らしく草をはむ姿は今年も人気を集めそうだ。

市内のぎふ清流里山公園でヤギを飼育する農業法人フルーシックが、市から委託を受けて二〇二二年度に始めた事業。除草費のカットや、ふん尿の堆肥化のメ



伸び放題の雑草を食べるヤギたち。美濃加茂市中部台で

リットがある。刈った草を焼かなくて済むため、二酸化

炭素の削減にもつながる。初日は四〜八歳の三十四匹が、柵に囲まれた斜面に放された。ヤギたちは急な傾斜を物ともせず、のんびりと歩き回り、旺盛な食欲で草を食べた。

十一月下旬まで週数回のペースで出動し、給食センターや工業団地内なども含めて計四カ所の市有地を回る。自由に見学することができ、日程と場所は市のホームページで紹介している。時間は午前八時半〜午後二時半。(渡辺大地)

Ⓑ

「山羊さん除草隊」続けて10年 わたなべ しょうじ 渡辺 祥二さん(50)



岐阜県美濃加茂市を拠点に活動する「山羊さん除草隊」を結成して十年。自治体や企業の依頼を受け、飼育するヤギたちを公園などに放って雑草を食べさせる。出動先は十力以上に広がり、ヤギを見に来る人も増えた。「活動が地域に定着してきた」と喜ぶ。

もともとは建設会社で働いていた。農業用木工事などに関わる中で未利用の農地の多さに驚き、「農業を盛り上げたい」と奮起。

この人

二〇〇五年に農業法人を設立し、日本では珍しいドラゴンフルーツの栽培などに挑戦してきた。除草隊は高齢農家のギンナン畑を管理するため、従業員提案で二匹を飼い始めたのが始まり。ヤギに任せれば、除草費用は人が行う場合の三分の二ほどで済み、環境にも優しい。現在の隊員は六十匹。「みんな働き者。人懐っこくて癒やされる」とほほ笑む。五年前から地元の小学校にもヤギを連れていき、児童が餌やりや鼓動を聞く体験教室を開いている。農業高校生と、ヤギのふんの堆肥でサツマイモなどを育て、ヤギ乳を使った特産品作りにも励む。「子どもたちが動物や農業を身近に感じ、生きる力を育んでもらえたらうれしい」(平井一敏)

(6月7日付)

【活用にあって】

『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編』には、言語活動例の一つとして、異なる新聞社による新聞記事などを比較、分類、関係付けるなどして、分かったことや考えたことを報告する活動が示されています。

授業では、実際の新聞記事をもとにして二つの記事を読み比べます。記事の内容、見出し、写真などに着目し、記事に書き手の意図がどのように表れているかを考えます。比べるためには、それぞれの記事に書かれている内容を丁寧に読み取ることが必要です。何よりも読解力が基盤となります。

解答例

問 1 : サツマイモ

問 2 : 環境にも優しい

問 3 : 六十

問 4 : 除草費のカット